

Assessing the effectiveness of the correctional sex offender treatment program

性犯罪者処遇プログラムの効果に関する研究

山本麻奈 府中刑務所分類審議室
森 丈弓 甲南女子大学人間科学部

刑事施設における性犯罪者処遇プログラム（以下、“プログラム”という）は、性犯罪行為に関連すると実証されている因子をターゲットとするように設計された認知行動療法のプログラムである。プログラムは、高密度、中密度及び低密度で提供されている。今回、このプログラムの効果（プログラムへの参加は、釈放後の再犯の減少につながるかどうか）について、実証的な調査を行った。刑事施設出所後の観測期間を最大で3年間とし、受講群（1,198名）はプログラムへの出席率が90パーセント以上の者、非受講群（949名）は、刑期が短いこと等の理由から、受講していないかプログラムへの出席率が90パーセント以下の者とした。分析の結果、全対象者の全ての再犯において統計的に有意にプログラムの効果が示されたが、全対象者の性犯罪の再犯においては統計的に有意な結果は得られなかった。このことから、プログラムは反社会的志向を修正する効果があるが、逸脱した性的志向に介入するためのより効果的な方法を検討することが課題であることが示された。

キーワード: 性犯罪者, 認知行動療法, 再犯, 効果, 刑務所